

会 議 録

会 議 の 名 称	第 2 回 行 田 市 産 業 交 流 拠 点 整 備 基 本 計 画 検 討 委 員 会
開 催 日 時	平 成 28 年 7 月 26 日 (火) 開 会 : 18 時 30 分 閉 会 : 20 時 30 分
開 催 場 所	産 業 文 化 会 館 2 階 第 2 会 議 室
出 席 委 員 氏 名	小 林 乙 三 (行 田 市 環 境 経 済 部 長) 飯 嶋 隆 夫 (行 田 フ ラ イ ・ ゼ リ ー フ ラ イ 友 の 会) 大 野 真 理 ((公 社) 行 田 青 年 会 議 所) 町 田 光 (NPO 法 人 魅 力 創 造 俱 楽 部) 西 田 信 子 (行 田 軽 ト ラ 朝 市 実 行 委 員 会) 泉 達 也 (関 東 道 の 駅 連 絡 会) 大 篠 一 也 (埼 玉 県 行 田 県 土 整 備 事 務 所) 伊 藤 徹 哉 (立 正 大 学 地 球 環 境 科 学 部) 大 橋 菜 央 (リ ク ル ー ト じ ゃ ら ん 統 括 編 集 部) 堀 口 貴 子 (星 河 地 区 自 治 会 連 合 会) 市 川 ひ ろ み (星 宮 小 学 校 PTA) 長 谷 川 浩 (農 業 従 事 者) 太 田 彰 (公 募 市 民) 告 広 子 (公 募 市 民) 吉 田 明 夫 (環 境 経 済 部 農 政 課 長) 岩 田 樹 一 良 (総 合 政 策 部 企 画 政 策 課 長)
欠 席 委 員 氏 名	小 池 利 昌 (行 田 市 商 店 会 連 合 会) 戸 塚 昌 利 (NPO 法 人 行 田 観 光 物 産 会) 大 澤 和 美 (長 野 中 学 校 PTA)
事 務 局	商 工 観 光 課 : 柿 沼 産 業 振 興 推 進 幹、赤 城 主 事、西 山 主 事 ラ ン ド プ レ イ ン 株 式 会 社 : 石 村、福 島、野 沢
会 議 内 容	・ 議 事 1) 事 例 紹 介 2) コ ン セ プ ト の 位 置 づ け に つ い て 3) 導 入 機 能 に つ い て 4) コ ン セ プ ト の 検 討 に つ い て ・ そ の 他
会 議 資 料	・ 次 第 ・ 委 員 名 簿 ・ 道 の 駅 事 例 紹 介 ・ 委 員 会 で 検 討 す る コ ン セ プ ト の 位 置 づ け ・ 産 業 交 流 拠 点 と し て の 強 み ・ 弱 み
そ の 他 必 要 事 項	・ 傍 聴 者 1 1 名

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
事務局（柿沼）	<p>開会</p> <p>資料確認</p> <p>委嘱状交付（第一回欠席者のみ）</p>
各委員	自己紹介（第一回欠席者のみ）
小林委員長	議題（１）「事例紹介について」関東道の駅連絡会、泉委員より栃木県の道の駅もてぎの紹介を求める。
泉委員	事例紹介「道の駅もてぎ」
小林委員長	続いて、ランドブレインより群馬県の川場田園プラザと、千葉県の道の駅とみうらの紹介を求める。
ランドブレイン株式会社（石村）	事例紹介「川場田園プラザ」、「道の駅とみうら」
小林委員長	質問等はあるか。
西田委員	<p>丁寧な説明をいただいたが、スタートして現在に至る中で失敗だった、良くなかった等のマイナス点や、反対にこうしたら上手くいった点を説明していただきたい。手を尽くした中で上手くいったことなどが参考になると思う。</p>
ランドブレイン株式会社（石村）	<p>直接ヒヤリングをさせていただいた、道の駅とみうらの枇杷倶楽部は現在では集客が増えてきているが、開設当初から知られていたわけではなく、地道にPRをした苦労があったと聞いている。</p> <p>自分達（運営会社）だけのネットワークだけでなく、行政と一緒に地元に入っていくことが出来たことが良かったと聞いている。</p> <p>また、枇杷を含めた商品開発で、試作品などを作ったが上手くいかなかったものもあった。地道に周知することで商品が売れるようになったと聞いている。</p>
事務局（赤城）	<p>昨年度、とみうらの創設者に支援アドバイザーとして助言いただいた。第三セクターの運営といっても、公共（行政）で設計をした建物が、お客様の動線と商品を入れる動線を考えていなかったのも、マーチャンダイジング、マーケティングの視点を取り入れて施設の設計をした方が良いとのアドバイスを受けている。</p>

<p>泉委員</p>	<p>道の駅とみうらは、商品価値の無い枇杷を今までは廃棄していたが、それを活用して上手くいった事例である。どのように上手く販売にもっていけるか、という体制を確立した。</p> <p>また、南房総市は合併した市町村なので、合併後に道の駅間の格差があり、苦勞をしたと聞いている。</p> <p>上手くいくためには、自然とお客様が入ってくるわけではなく、広い範囲で PR することが必要だと思う。商品開発を重ねながら PR することで、浸透し人気が出た。</p>
<p>伊藤委員</p>	<p>東京に近い所は道の駅の登録が少ない。今回紹介されていた道の駅もてぎの関東の北の辺りは、日帰り旅行の目的地となる場所である。</p> <p>そういった点では、行田市は外部からの流入は通過交通のため、目的地としてはマイナスになっている。</p> <p>また、成功事例の道の駅はコンセプトがはっきりしている。</p> <p>徐々にでも来客者に対して訴求力となるようなコンセプトが必要だと思う。例えば千葉県にある「発酵の里」や埼玉県「イチゴの里」という名前を付けた道の駅がある。コンセプトと、それを還元した商品開発が上手く連動していないといけないと思う。</p> <p>駅長だけでなく、店舗を出店する人などもリスクを背負う。成功するであろうという前提のもと、リスクを背負ってでも協力していただく。</p> <p>最近では道の駅の数が増えているので差別化を図るという意味でも地域連携、つながりを作っていないと競争が激しい。</p>
<p>飯島委員</p>	<p>事例紹介で書かれている販売額は、レストランやお土産などすべての商品を入れた額か。例えば道の駅もてぎの場合、販売額 7 億 2000 万円だが、一人頭 500 円ということか。年間利用者を増やし、食事をしてお土産などを買っていただければそれ以上の額になるということか。</p>
<p>告委員</p>	<p>川場田園プラザに行ったが、平日のお昼で多くの人が出た。レストランでは食事ができず、野菜も売り切れており、買うものがなかった。</p> <p>また、ミート工房の商品の値段が決して安くはなく、ワンコインで食べられるものがない。そのせいか、来客がある割には人が少ない印象を受けた。</p> <p>滞在時間が二時間くらいあると子どもにとってはうれしいかもしれないが、中高齢の人が使える施設が少ない。中高齢が楽しめるものを付加</p>

	<p>価値としてつけていくことが必要。</p> <p>訪れたとしても買い物はしない、長い時間もいられないとなると、また川場田園プラザに訪れようとは思わない。</p>
泉委員	<p>川場田園プラザは、東京の世田谷と姉妹都市であり、世田谷の子供が年一回は行くことになっている。そういった面で利用者が一定程度はいるということになっているということもある。</p>
太田委員	<p>川場田園プラザは場所的な条件が非常に大きい。川場というのは他に観光地があれば成功しないと思う。関越道から30分かかり立地が良いとは言えない。</p> <p>また、商品が高いと思う。中高年にとっては広すぎる、疲れる。人工芝があるが、夏は暑くてたまらない。スチームもあるが効いていない。</p> <p>また、条件がすごく良い。食事をして日光方面に下って、東京に帰るという目的地までの中継地点としてはちょうど良い。</p> <p>行田に産業交流拠点として作るということか。作るということが決定していなければ、議論をする意味がなくなってしまう。それをはっきりさせてからの議論を交わさないと意味がない。</p> <p>行田は埼玉県の中でも地理的条件が悪い場所である。各インターから遠く、中央に位置する。それらを一本の線につなげるために産業交流拠点を作るのであれば、紹介いただいた田園プラザの事例は、地理的条件が違い参考にならない。東京から道の駅の行田にわざわざ来るとは思わない。作るのであれば、独創的なものでないと成功しないのではないか。</p>
西田委員	<p>その意見は意見交換で出したほうが良いのではないか。</p>
町田委員	<p>川場田園プラザは、株式会社の運営管理になっているが、他のところはどうなっているのか。また、道の駅は株式会社で運営していることが多いのか。</p>
ランドブレイン株式会社（石村）	<p>公共が出資して会社を作る場合と、指定管理などの民間事業者運営管理を委託するということがある。</p>
泉委員	<p>道の駅もてぎは第三セクター。</p> <p>民間の方が運営をして成長しているものもある。そのため、どこまでできるのかという問題があると思う。</p>

小林委員長	<p>事例は参考として紹介いただいた。これが行田に当てはまるわけではない。町との関わり方の参考になればと思う。</p> <p>次に議題（２）「委員会で検討するコンセプトの位置づけ」、事務局より説明を求める。</p>
事務局（赤城）	議題（２）「委員会で検討するコンセプトの位置づけ」資料説明
小林委員長	内容について質問はあるか。
長谷川委員	今回と次回のみで、議論がまとまるのか、委員としては荷が重いと感じる。例えば、広場ひとつでもどのような機能を持たせるのか具体的に検討しなければいけない事項もある。これだけの量を残り二回の議論でまとまるのか。
事務局（赤城）	今回の議論で施設の方針が決まったからといって、第三回で修正できないわけではない。もう一度考え直した結果、新たな意見があれば修正が必要であり、残り二回の議論では足りない場合、第四回の場合を検討していくことも考えられる。
長谷川委員	紆余曲折しながらも議論を出し尽くさないと、この委員会が終わった次の段階の際で委員会の意見の食い違いが起きると思い、このようなお話しをした。
大橋委員	<p>コンセプトの意味は多くあるが、役割や目的としてのコンセプトだと認識していいのか。</p> <p>若い顧客に対するコンセプトなのか、行田市としての道の駅が誰に対して、どのような目的のために作られるべきなのかによってゴールが異なる。</p>
町田委員	<p>休憩施設、駐車場などが本来の道の駅であるということを利用客は知らないと思う。売店があって、直売所があって、レストランがあってというのが利用者にとっての道の駅だと思う。防災の機能が本来の道の駅の役割だということを利用者は知らない。そのため、我々が考えるとすると、道の駅は物産、飲食を入れていかないと利用客がいなくて、少なくなってしまう。</p> <p>行田市としての位置づけでPRしていくというのはどうなのだろうか。</p> <p>今後の話になると思うが、例えば隣にある総合運動公園を高校野球予選ができる規格や硬式テニスの試合ができるようにし、利用客を高めた</p>

	<p>上で、隣の施設との行き来ができれば、年間の利用客が増えるのではないかと思います。</p> <p>都市計画課の職員を交えて、一つの計画だけでなく周りの学校や施設を活用していくことが、行田の弱さの改善につながるのではないかと。</p> <p>体系を民間に委託するのか、行田市が株式会社をつくり運営していくのか、という部分が見えてこない。民間がやるとしたら、民間のやりやすいようにやるべきだが、行田の特産など関係なく、売れるものを売るとなると思う。それが一番運営していく上で問題ないかもしれないが、その部分が見えてこないとわからない。民間も入れながら検討すれば、行田市の特産物の売り場を作る検討ができる。</p> <p>運営を行政出資の株式会社で行う場合や、民間で行う場合などの幅を持たないと内容が進まないのではないかと。</p>
事務局（赤城）	<p>施設としてどういったものを作るかというコンセプトであって、カスタマーに対するコンセプトではない。伊藤先生のお話にあった「発酵の里」、「イチゴの里」のようなコンセプトはカスタマーに対する売りとなる。まずは、施設としてどのようなものをつくるのかといったコンセプトを出した後に、行田市の売りを考えていきたいと思う。行田市に必要な強み弱みを見て頂きながら、必要な施設を考えていただきたい。</p> <p>長所を生かす、短所を補うことも考えられるが、まずは施設としてどのようなものがあるのかを考えていただければと思う。その後に、意見にもあった利用客を、どう集客していくかということにつながっていくのではないかと考えている。</p>
太田委員	<p>公共をメインにしてつくるなら、北に作る必要はない。市内につくればいいと思う。私は埼玉地区に住んでいるが、遠い場所にはいかない。公共施設を作るなら、ここ（市役所）だと思う。</p>
飯島委員	<p>飲食施設や直売所は周りに多くある。集客を考えたら、敷地全体で考えて、例えば、野外活動センターにコテージ、森があって、私の考えとしては敷地を森にすればいいと思う。森の中に直売所があり、遊べる、泊まれるようなもの。夏休みに子どもに体験させることもできる。</p>
町田委員	<p>直売所や飲食施設は、行田市の方に使ってもらおうと考えるのではなく、コンセプトとしては行田市に寄ってもらおう人という考えがよいと思う。二時間じゃなくてもいいので、行田市に寄ってもらっただけで十分だ</p>

	<p>と思う。行田市は通過する街だと思っていて、通過する方に上手く寄ってもらおう考え方でいいと思う。行田市は、観光というよりは見学として寄ってもらおうところだと思う。</p> <p>インターから離れていることは弱みではなく、通過客を捕まえることに意味がある。会社だろうが携わる人間の努力。直売所や飲食施設は、コンセプトで言えば行田市を通過する方に使ってもらおう部分だと思う。防災機能だとすれば、何かあったら行田市の人のためになると考えれば良いかと思う。</p>
小林委員長	<p>どういう機能でどういうものを行田で求められているかというところからコンセプトが生まれてくる。</p>
事務局（赤城）	<p>ポストイットに事前に考えてきていただいた内容を記入願いたい。赤にイメージ、青に具体的な施設。ポストイットは何枚使っても良い、1つずつ書く。枚数が合わなくても良い。</p>
	<p>休憩</p>
ランドブレイン株式会社（石村）	<p>今日全部まとめる時間はないと思う。どんなというところでキーワードが整理出来れば。次回に検討頂きたい。</p>
	<p>「コンセプト導出に係る事前記入シート」を基に、①施設のイメージと②機能について各委員より発表</p>
大野委員	<p>高速と高速の間なので、夜間停泊の出来る場所。キャンピングカーに対応した場所。災害時に各飲食店の機材を出せる。</p>
西田委員	<p>終の棲家の街として、C C R Cにしたらどうか。宿泊施設にお金をかけないで、住宅展示場で提供してもらおうなど。</p> <p>古民家が魅力。ビルではなく点在する施設。</p> <p>外国人を呼べる和や歴史の魅力。九州パンケーキのような、ブランドを作り上げて喫茶店を出すなど。</p> <p>さきたま古墳などの魅力ある施設をつなげる。自転車では不可能なので市営バスなどではとバスのように。</p>
岩田委員	<p>行田の強みである農業に着目。ありきたりかもしれないが、市内農産物を使ったレストランや直売所、食品加工センターのような施設。</p> <p>差別化を図るため、新たな農産物の開発。販売目的と合わせて観光農業の提案。マンゴーなどビニールハウスを使って南国フルーツ園。他に</p>

	<p>はない生産物、観光物をつくり強みになれば。</p> <p>交通利便性が弱いという市民意識調査結果。バイパスに高速バスのターミナルを検討。</p> <p>緑に囲まれたコンパクトなイメージから、日帰り体験農園、クラインガルデン、温泉、足湯、BBQ場など。</p>
吉田委員	ぜひ地元が普段使いできる飲食店も入れて欲しい。
泉委員	市の防災計画に踏み入れた施設として、避難所や待避所にして頂ければいい。
大橋委員	<p>カスタマーが求めるものを導入すべき。</p> <p>直売所では農産物生産者の顔が見える、食育・野菜ソムリエがいると安心感がある。</p> <p>飲食店はSNSでの拡散性が高いので、地域イメージやコンセプトに近いものを盛り込んだテイクアウトメニューの開発が必要。</p> <p>若い層をターゲットにするならレジャー施設が必要。基本無料にし、付随施設や飲食店でお金を落としてもらう方が良い。</p> <p>観光案内所にはパンフレットを並べるだけでなく、町に行きたくなるような仕掛けが必要。</p> <p>加工品販売所ではインターネット販売も同時にやっていく。</p> <p>ハードは変えられないがソフトは変えられるので、体験ができるイベントを作り続けることが必要。</p>
太田委員	<p>行田は米作りが盛ん。昨年田んぼアートがギネス認定された。今年はドラゴンクエスト30周年の絵をやっている。今のところ展望台にもかなりの人が来ている。道の駅周辺にも巨大迷路やオーナー制度も考えていいと思う。</p>
告委員	<p>今人気の甲冑隊のステージで人を呼び込む。</p> <p>女性がお花を楽しめる体験。ターゲットは女性が良いと考える。</p> <p>健康増進、体力テストができる。食事の合間に体験できるものが良い。</p> <p>フードコートのゾーンは、ありきたりな道の駅にあるものだと飽きられてしまう。リピーターが大事なので、そこに行かないと食べられないものの商品化の強化が必要。</p>
市川委員	<p>地元の人が利用する道の駅として考えた。天気が悪くても安心・安全</p>

	<p>に室内で遊べる場所。小学生も中学生も幅広い層が遊べる場所。ついでに役所の手続きができる出張所があると便利。</p> <p>行列が出来るようなメイン商品があれば良い。</p> <p>コンビニは欲しい。全体的にリーズナブルなお店が良い。</p>
堀口委員	<p>歴史をアピールする、小さい子供が遊べるアスレチックを古墳の形にするなど。</p> <p>地域交流、甲冑隊のイベントができる野外ステージがあるとよい。</p> <p>24時間休憩できる場所と夜間閉鎖するところを区別してつくる必要がある。</p> <p>避難施設としては立地がよい場所になるのではないか。</p> <p>料理を教える機会があるが、みんな自分で料理をすることを喜んでくれる。ぜひ料理の体験ができる調理室が欲しい。車いすでも使えるようになるとよい。</p>
大篠委員	<p>きれいなトイレ休憩施設があれば良い。</p>
長谷川委員	<p>女性がターゲットになってくると思う。楽しい・美味しい・美を求めることで消費行動へ。全体のコンセプトは女性の欲求に訴えるものが良いと思う。</p> <p>RVパークが全国に展開されている。泊まれる車で来ればゴミ捨て、お風呂も入れて、駐車場が宿泊場になる。道の駅に併設されているところもある。電源が取れるのがよい。</p> <p>行田は観光地の手前でもない。通過点であるけど、朝早くに蓮の花を見に行くとしたら夜泊まる。そういうときに良いと思う。</p> <p>温浴施設、スーパー銭湯のようなところでスタンプラリーなど。水豊かなところなので、地下水源を上手に使ったコンセプト。</p> <p>田んぼアートが昨年ギネス認定されたが、足袋はまだギネスにないので、足袋も世界一の記録をつくり、仕掛けをしながら足袋を楽しんでもらえると良い。足袋は行田の名産品で、夏でも快適である。暑い行田と快適な足袋というPRが出来ると考える。</p> <p>粉で作る文化があるので、米粉・小麦粉・大豆粉のベストミックスを作る。</p> <p>二次的食品加工施設で、見学ができて食べられる施設。今後、すぐでなくても良いので。</p>

町田委員	何千人単位の自転車の大会がある。自転車族のたまり場となるような、横丁のように両側に広いスペースに店舗を配置し、地元の商店街が出店できたらありがたい。
小林委員長	<p>本日出た意見を細かく分類して、事務局で取り纏めたものを皆さんに送る。次回意見を一覧表にして、機能と施設の関連付けをする。</p> <p>本日はたくさんのご意見を頂いた。また帰宅して面白い発想が思い付いたら、また次回聞かせていただきたい。</p>
事務局（赤城）	<p>事務連絡。</p> <p>今回は8月17日（水）を予定。時間・場所は追って通知する。</p>